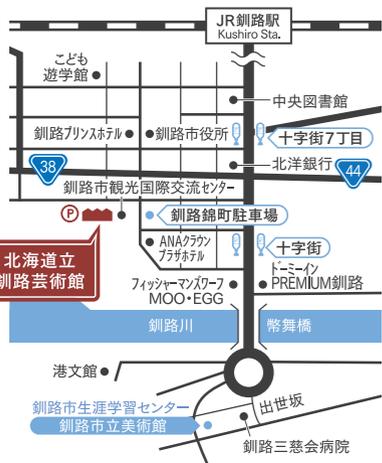


交通のご案内

- JR釧路駅から、徒歩で約15分（南へ約1.2km）。
- くしろバス「十字街」「十字街7丁目」停留所下車、徒歩で約5分。
- 釧路空港から市内行きバスで約50分、「フィッシャーマンズワーフMOO」停留所下車、徒歩で約2分。



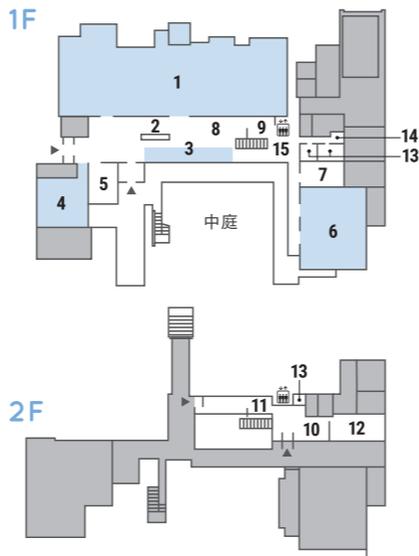
P 来館者専用
駐車場は **8** 台

満車の場合は、
釧路錦町駐車場を
ご利用ください。

- 特別展をご観覧の方は利用料金が2時間無料になります。
- イベント等でご来館の方は2割引になります。
- 駐車券を当館受付にご提示ください。

建築概要

- 1 展示室
- 2 受付・発券カウンター
- 3 ロビー
- 4 フリーアートルーム
- 5 美術ワークショップ室
- 6 アートホール
- 7 音楽ワークショップ室
- 8 ミュージアムショップ
- 9 ベビールーム
- 10 閲覧コーナー
- 11 喫茶コーナー
- 12 事務室
- 13 トイレ
- 14 多目的トイレ
- 15 コイン返却式ロッカー



開館日 | 1998年10月24日
工 期 | 1996年7月～1998年3月
総工事費 | 約20億円
敷地面積 | 5,000㎡
延床面積 | 3,430㎡
構造種別 | 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
基本設計 | 象設計集団(構想設計競技最優秀)
実施設計 | 象設計集団+総合設備計画共同企業体

コイン返却式ロッカー、
車いす、ベビーカー、ベビー
ルーム、多目的トイレ等
をご利用いただけます。

コレクション紹介

〈映像芸術〉〈自然と芸術〉〈地域と芸術〉を基本方針として、写真を中心とした映像作品や自然をテーマとした作品、地域と関連する作品など、特色あるコレクションを目指して収集を続けています。
(2025年3月現在の収蔵作品数920点)

自然と芸術



田中みぎわ《天国の門》 2001年

映像芸術



長倉洋海《山の上で、ひとり本を読むマズード》 1983年

地域と芸術



羽生輝《冬日(悠々釧路湿原)》 2015年

各種取組

▶ 釧路芸術館ボランティアの会 SOA(Station of Art)

芸術館の事業に協力・援助する会。広報部、販売部、喫茶部、資料部があります。



▶ アートギャラリー北海道

北海道内の美術館が連携し双方向でアートを紹介・発信することにより、北海道全体がアートの舞台となることを目指す取り組みです。



▶ SOA招待事業

「そあっこ」表示のある展覧会では、ボランティアの会SOAが釧路・根室管内在住の中学生以下のみなさんをご招待!



▶ 地域連携企画 もも得

当館と地域のお店との相互サービス企画を行っています。



釧路芸術館の マスコットキャラクター



北海道立釧路芸術館 Kushiro Art Museum, Hokkaido

〒085-0017
釧路市幸町4丁目1-5
TEL 0154-23-2381
FAX 0154-23-2386

開館時間

午前9時30分～午後5時
休館日、夜間開館日については
中面のカレンダーをご覧ください

<http://www.kushiro-artmu.jp>

【指定管理者】釧路芸術館共同事業体【施設設置者】北海道教育委員会
(北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 代表TEL.011-231-4111)

「北海道立釧路芸術館」で検索 @kushiroartmuseum @kushiroartmu

English
Information



简体字
使用指南



繁體字
使用指南



한국어
이용안내



北海道立釧路芸術館

展覧会のご案内
MUSEUM CALENDAR
2026.4-2027.3



釧路芸術館の活動

北海道立釧路芸術館は釧路・根室圏の芸術文化の拠点として1998年10月にオープンしました。以来、優れた芸術作品の収集・保管をすすめるとともに、多彩な展覧会や教育普及事業の開催、調査研究などを行い、北国の個性的な文化の形成を目指す活動を展開しています。



ミュージアムツアー



キッズアトリエ



Kushiro Art Museum, Hokkaido

4月25日(土) - 6月28日(日)

帯広美術館×釧路芸術館
う・つ・す一版と写真の挑戦



Obihiro Museum of Art x Kushiro Art Museum
RE-PRO-DUCE Explorations in Print and Photography



出店久夫《地と母子像》
2010-11年 北海道立帯広美術館蔵
毛網毅曠《建築古事記一曼陀羅3(地)》
1991年 当館蔵

複製技術という共通点を持ち、歴史的にも深い関係の中で表現の広がりを見せてきた版と写真。本展では、「うつつ」をキーワードとして、北海道立帯広美術館コレクションの「プリントアート」と、当館コレクションの「映像芸術」から、多様な版表現と写真表現の挑戦を紹介します。

¥ 一般 | 800(600)円 高大生 | 400(300)円 小中生 | 200(100)円 ※あっこ

ロビー展示 Lobby Exhibition ¥ 観覧無料

当館ロビーでは彫刻作品を展示しています

幣舞橋に立つ彫刻「道東の四季の像」のエスキース(習作)と舟越保武《若き石川啄木》などをご覧ください。



《道東の四季の像》エスキース(習作) 釧路市蔵(当館受託)
舟越保武《若き石川啄木》
1965当館蔵年

2026	4	5	6																					
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
				1	2	3	4						1	2					1	2	3	4	5	6
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13				
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20				
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27				
26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30	31	28	29	30									

7月11日(土) - 9月13日(日)

笠間日動美術館コレクションの至宝
ゴッホ《サン＝レミの道》に会える！
西洋と日本、同時代を生きた画家たち

Treasures from the Kasama Nichido Museum of Art Collection:
Encounters with Van Gogh's "A Road at Saint-Remy with Female Figure"
Western and Japanese Painters of the 19th and 20th Centuries



フィンセント・ファン・ゴッホ
《サン＝レミの道》
1889-90年頃
笠間日動美術館蔵

世界の優れた美術作品を数多く所蔵する笠間日動美術館のコレクションから、フィンセント・ファン・ゴッホ《サン＝レミの道》(1889-90年頃)や葛飾北斎《富嶽三十六景》(複製版)をはじめ、19~20世紀の西洋と日本において生み出された風景画や風俗画、人物画などを紹介します。



高橋由一《鯛図》 笠間日動美術館蔵



葛飾北斎
《「富嶽三十六景」神奈川沖浪裏》
(複製版) 笠間日動美術館蔵

¥ 一般 | 1,100(900)円 高大生 | 600(400)円 小中生 | 300(200)円 ※あっこ

	7	8	9																						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土					
				1	2	3	4					1	2	3	4	5					1	2	3	4	5
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12					
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19					
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26					
26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30									

10月3日(土) - 12月13日(日)

三岸好太郎展 好太郎の世界とその軌跡
Migishi Kotaro Exhibition
The World of Kotaro and His Artistic Journey



三岸好太郎《オーケストラ》1933年 北海道立三岸好太郎美術館蔵



三岸好太郎《花と蝶》1932年
北海道立三岸好太郎美術館蔵



三岸好太郎《花》1933年
北海道立三岸好太郎美術館蔵

札幌生まれの画家、三岸好太郎(1903-1934)は31年という短い生涯の中で同時代の新たな潮流や様々な刺激を敏感に吸収し、独創的な作品を多数生み出しました。本展では、三岸好太郎美術館のコレクションから好太郎の多彩な表現の世界とその軌跡をたどっていきます。

¥ 一般 | 1,000(800)円 高大生 | 600(400)円 小中生 | 300(200)円 ※あっこ

同時開催 ¥ 観覧無料 10月3日(土) - 12月13日(日)

没後10年 米坂ヒデノリ展
Ten Years On Yonesaka Hidenori Exhibition

釧路生まれの彫刻家・米坂ヒデノリ(1934-2016)。没後10年の節目に、当館コレクションを中心として、その思索的な造形世界を紹介します。



米坂ヒデノリ《頌頌(三管編成オーケストラ)》1997年 当館蔵

	10	11	12																	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30	31	29	30	27	28	29	30	31							

開館記念日



2027年1月5日(火) - 3月7日(日)

ももちゃん芸術祭2027
みて、しゃべって、好きになる！



Momo-chan Art Festival 2027
Look, Talk, and Fall in Love!

この展覧会は、おしゃべり大歓迎！目で見ただけ、感じたことを言葉にしてみることで、作品のことがもっと好きになるかも！体験をとおして子どもやファミリー、大人まで幅広くお楽しみいただけます。



島山直哉《Slow Glass: #021》2001年 当館蔵



花田和治《SKI II》1989年 当館蔵

¥ 一般 | 460(360)円 高大生 | 200(150)円 中学生以下・65歳以上無料
高校生は毎週土曜日が無料

同時開催 ¥ 観覧無料 2027年1月26日(火) - 3月7日(日)

柳楽航平写真展 原野再読
Nagira Kohei Exhibition Reframed Elsewhere

島根県隠岐の島に生まれ、釧路を拠点に活動する写真家であり高校教員である柳楽航平(1994-)。道東の自然や動物の命を見つめた躍動感あふれる写真作品を紹介します。



柳楽航平《問いかけの木》2022年 野付半島 作家蔵

2027	1	2	3																								
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土							
						1	2					1	2	3	4	5	6					1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13							
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20							
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27							
24	25	26	27	28	29	30	28	28	28	29	30	31															